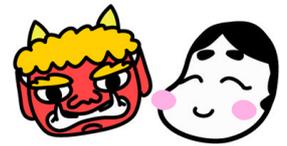


～子どもたちに笑顔を、子どもたちから笑顔を！～



特定非営利活動(NPO)法人



みやざき子ども文化センター

ニュースリリース 2013年 2月号

きよたけ児童文化センターには、**子どもの本が2万冊！！** **貸出も行っています。遊びにきてね！**



新聞を開くと毎日毎日紙面は暗いニュースでいっぱいです。

子どもの幸せを願わない大人はいないと思いますが、私たちはこの厳しい現実の中に子どもたちを送り出さなければなりません。せめて、子どもたちにこの厳しさを乗り越えていく力を身につけさせて、社会に送り出したいと私は思います。そのために、子どもたちに読書の喜びと自分で資料を使って学習する能力を身につけてほしいと思います。

苦しい時、つらい時、もうどうすればいいかわからなくなった時、本を読

む事によって救われる事があります。わかりやすい例では、「癌になったとき、同じ癌になった人の闘病記を読む事によって救われた。」という新聞記事を先日読みました。

癌ほど深刻な場合でなくても、一時、本の世界に心を遊ばせてまた生きる力が湧いてくる事もあると思います。もちろんこれが音楽であったり、スポーツである場合も同じです。

また、今は昔と違って技術がどんどん進歩しています。学校を卒業したときの知識だけで一生涯生活していくことは不可能です。もう先生はいません。自分で必要な資料を探し、自分の抱えている問題を解決する力がどうしても必要になってくるのです。

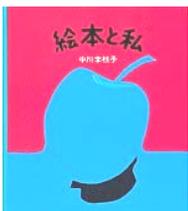
ぜひ、子どもたちに本を読んでほしいと願うのですが、皮肉にも子どもの本離れは進む一方です。

原因は何でしょう？ひとつには、ゲームなど本のほかにも楽しいことがいっぱいあるからだと思います。昔と比べ本のほかに子どもの娯楽がたくさんあります。

そこで大人の方にお願ひがあります。どうか子どもさんと一緒に図書館にお出かけください。そこには無料で借りられる本がいっぱいあります。たくさんの中の中から、自由に本を選ばせてあげてください。たとえ字が少ない本であろうと、決して大人が口をはさまないであげてください。もちろん、読んだ後にしつこく感想を求めないでください。

もしお気に入りの本ができたなら、本屋さんに向かってください。今度は有料ですが、できればその本を買ってあげてください。そしてなにより、子どもたちに大人が本を読む姿を見せてあげてください。

(きよたけ児童文化センター職員 菊井純子)



この本オススメ！

絵本と私 著者：中川李枝子 発行：福音館書店

中川李枝子（なかがわ りえこ）は、“ぐりとぐら”の作者でもあり、ジブリ作品“となりのトトロ”の主題歌『さんぽ』の作詞者でもある。



<お問い合わせ・ご連絡先・発行元> NPO 法人 みやざき子ども文化センター

〒880-0051 宮崎市江平西1丁目5-11 江平ビル105号

TEL 0985-61-7590 FAX 0985-61-3635

E-mail center@kodomo-bunka.org HP <http://www.kodomo-bunka.org>



【ホームページ QRコード】